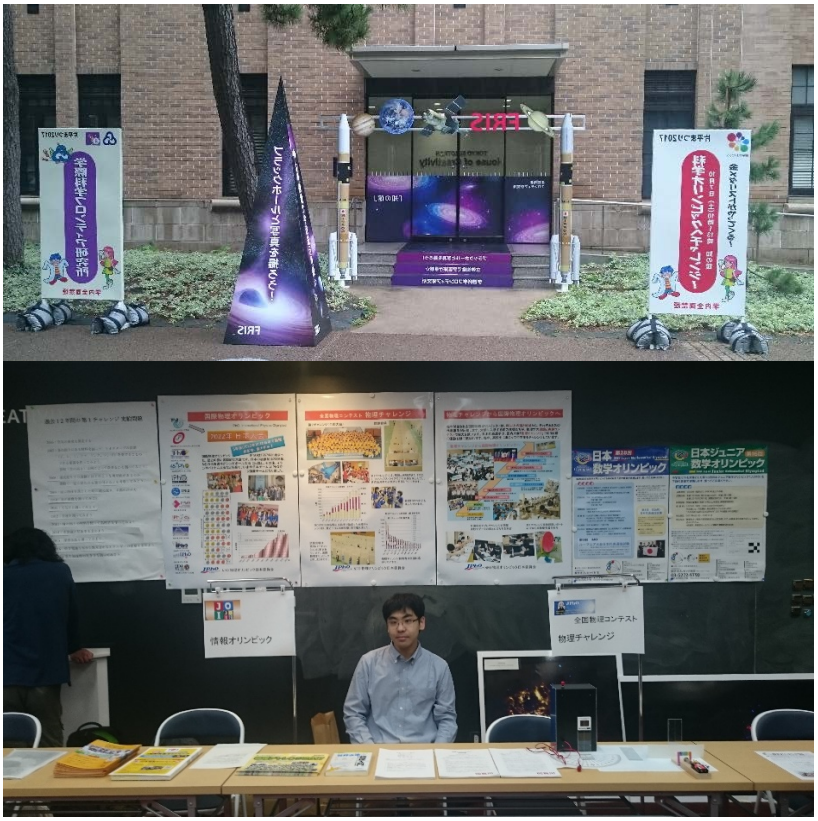
行事／取組名称	片平まつり／科学オリンピックへチャレンジ		
担当者	近藤泰洋（JPhO）、前田吉昭（JMO）、ちぐさラオ（JST）		
開催日時・期間	平成 29 年 10 月 7 日 10 時～13 時	会場	東北大学片平キャンパス 知の館
主　催	東北大学 知の館	後援	地学オリンピック日本委員会 情報オリンピック日本委員会
共　催	物理オリンピック日本委員会、数学オリンピック財団、科学技術振興機構		
協　賛			

概要

片平まつりは東北大学付属の研究所や史料館を公開するイベントとして 2 年に 1 回開催されている行事です。今年初めて、物理オリンピック日本委員会は数学オリンピック財団、及び JST と協力し、科学オリンピックの紹介を目的として知の館という研究施設の公開に参加した。JST の協力により、科学オリンピック全体に加え、地学と情報と地学オリンピックの紹介も行った。各オリンピックへチャレンジするための問題紹介と物理、地学オリンピックのメダリストの講演を行った。物理オリンピック日本委員会としては物理オリンピックに至る過程の紹介と共に 2017 年の第 1、第 2 チャレンジの理論及び実験問題の紹介を行った。
しかし、残念ながら割り当てられた時間が午後 1 時までの 3 時間しかなく、観客としてきたのはほとんどが小学生と保護者であった。残念ながら高校生は無く、中学生が 2 名と非常に少なかった。

参加者　　教員	高校生	中学生
	0	2 名

報告事項１

物理オリンピック 2011 年の金メダリスト（佐藤遼太郎氏）が物理オリンピック代表としての経験を話し、ポスターでは第１チャレンジから物理オリンピックに至る過程を紹介した。第２チャレンジの実験セットのうち、レーザー光の回折と水素放電管のスペクトル観察、ボイルの法則実験のセットを展示した。来場者の小学生と保護者の両方が実験の一部を行い、特に保護者が興味を持ち質問が多かった。高校生の来場がなかったが、両親のアシストにより小学生が将来、科学オリンピックに興味を持つ可能性に期待したい。